

# 伊勢原市 西部版 洪水・土砂災害 ハザードマップ

● 自宅周辺の災害危険度を知っておきましょう ●  
このハザードマップは、洪水・土砂災害リスクがある区域などを示したものです。日ごろから自宅周辺の災害リスクがある区域を確認するとともに、いざという時の避難所や避難経路も確認しておきましょう。

### 避難行動についての書き込み欄

自宅の洪水・土砂災害リスク	
浸水深	0.5m未満 □ 0.5m以上～1.0m未満 □ 1.0m以上～3.0m未満 □ 3.0m以上～5.0m未満 □ 5.0m以上 □
家屋倒壊等氾濫想定区域	氾濫流の想定区域内 □ 河岸侵食の想定区域内 □ 想定区域外 □
土砂災害	特別警戒区域内 □ 警戒区域内 □ 警戒区域外 □
避難の方法	避難の方法を確認しましょう。
避難の方法	立ち退き避難(水平避難) □ 屋内安全確保(垂直避難) □ 階に避難 □
避難所	避難所を確認しましょう。また、自宅から避難所までの経路や時間を事前に歩いて確認してみましょう。
避難所	自宅～避難所までの時間

【メモ】家族の連絡先や、避難時の持出品等について記入しておきましょう。

## 洪水・土砂災害発生時のタイムライン

日ごろから	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
<b>災害に備えよう</b> ・非常持出品を準備しておく。 ・避難所、避難経路を確認しておく。	<b>気象情報に注意しよう</b> ・最新の気象情報、災害情報、避難情報収集して、災害への心構えを高める。	<b>避難に備えよう</b> ・避難に備え、非常持出品の用意や、ハザードマップ等により、避難所、避難経路など自らの避難行動を確認する。	<b>高齢者等避難</b> ・高齢者、障がい者等、避難に時間を要する人とその支援者は危険な場所から避難する。 ・その他の人は避難の準備は済ませ、避難開始に備える。	<b>避難指示</b> ・速やかに危険な場所から避難先へ避難する。 ※移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所に避難し、避難指示が解除されるまで待機する。	<b>緊急安全確保</b> ・既に災害が発生、または迫った状況、命の危険があるため、直ちに身の安全を確保する。
<b>防災気象情報</b> (気象庁・国土交通省が発信)	<b>早期注意情報</b> 例) 気象情報を収集する。避難先、非常持出品の再確認をする。家族と連絡をとる。	<b>大雨・洪水注意報</b> 例) 祖父・祖母を連れて〇〇に避難する。避難の準備をはじめ、雨風が強くなる時期	<b>氾濫警戒情報</b> 大雨・洪水警戒 例) 祖父・祖母を連れて〇〇に避難する。避難の準備をはじめ、雨風が強くなる時期	<b>氾濫危険情報</b> 土砂災害警戒情報 例) 速やかに避難所に避難する。自宅の最上層へ垂直避難する。避難の準備と避難指示を知った時の行動も考えておく	<b>氾濫発生情報</b> 大雨特別警戒 例) 命を守るため高い場所に避難。避難して情報収集を行う。最初の情報として緊急安全確保を知った時の行動も考えておく

## 避難時の心得

日ごろからいざというときのことを考えておきましょう。そして、災害時には慌てず落ち着いた行動をとることができるよう避難するときに気をつけるべきことを覚えておきましょう。

<b>危険を感じたら自主避難を</b> テレビ、ラジオなどで最新の気象情報、防災情報に注意して、危険を感じたら自主的に避難しましょう。	<b>靴は運動靴で</b> ひもでしっかりと締められる運動靴をはきましょう。長靴は、中に水が入ると重くなって動きにくくなります。	<b>動きやすい服装で複数人で行動を</b> 避難するときは、動きやすい格好で、近所で声をかけ合い、複数人で避難しましょう。	<b>足元に注意を</b> 足元が見えにくい場合は、はずれたマンホールや側溝などに落ちないように、棒や杖等で確認しながら歩きましょう。	<b>車の運転は控えて</b> 浸水深が30cm以上では車の走行が困難になるため、できるだけ徒歩で避難しましょう。しかし、体の不自由な方などは車での早期避難を検討しましょう。	<b>要配慮者への支援</b> 災害発生時、大きなハンデを負うのは高齢者や障がい者などの要配慮者です。積極的な声をかけ合い、早期の避難ができるよう協力しましょう。
--	---	---	--	--	--

## 広域避難所

名称	住所	電話番号	浸水深	地震	風水害
伊勢原高校	田中 1008-3	95-2578	0.0m	○	○
竹園小学校	岡崎 6611-1	93-4718	0.0m	○	○
大山小学校	大山 209	95-2014	0.0m	○	○
高部屋小学校	西富岡 1090-1	95-2569	0.0m	○	○
市体育館(総合運動公園)	西富岡 320	92-3536	0.0m	○	○
山王中学校	上粕屋 804-2	95-2362	0.0m	○	○
比々多小学校	神戸 521-1	95-2307	1.6m	○	-

## 臨時避難所

名称	住所	電話番号	浸水深	地震	風水害
中央公民館	東大竹 1-21-1	93-7500	0.0m	○	○
板戸児童館	板戸 631-9	-	0.0m	○	○
大山公民館	大山 303-1	93-5708	2.2m	○	○
老人福祉センター阿夫利荘	大山 194	93-1006	0.0m	○	○
J A湘南大山支店	子見 1283	-	0.0m	-	○
高部屋公民館	西富岡 1143-1	94-3857	0.0m	○	○
石倉福祉館	上粕屋 1543-1	-	0.0m	○	○
比々多公民館	坪ノ内 307	92-6961	0.0m	○	○
善波児童館	善波 738	-	0.0m	○	○
東京農業大学	三ノ宮 1499-1	-	0.0m	-	○

## 福祉避難所

名称	住所
伊勢原ホーム	子見 1254-4
泉心荘	三ノ宮 511-1
ピースフルライブオハナ	板戸 901

## 救医療救護所

名称	住所
大山小学校(保健室)	大山 209
高部屋小学校(保健室)	西富岡 1090-1
比々多小学校(保健室)	神戸 521-1

## 帰宅困難者への支援(大山・日向)

● 帰宅困難者一時滞在施設  
交通機関の麻痺により、帰宅が困難となった観光客や駅前滞留者などに対して、トイレや休憩スペース、帰宅支援情報の提供を行う場所として、次の施設を指定しています。

区分	名称	所在地
大山方面	老人福祉センター阿夫利荘	大山 194
	阿夫利神社(下社)	大山 12

● 帰宅困難者避難所  
数日間にわたる帰宅困難者の発生を想定し、帰宅困難者避難所を指定しています。

区分	名称	所在地
大山方面	大山小学校	大山 209
日向方面	高部屋小学校	西富岡 1090-1

## 凡例

- 広域避難所
- 福祉避難所
- 臨時避難所
- 医療救護所
- 帰宅困難者への支援施設
- 防災行政無線
- 警察署・交番・駐在所
- 消防署
- 高速道路
- アンダーパス
- 国道
- 水位観測所
- 県道
- 河川カメラ
- 市境界

## 土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊 土石流	早期立ち退き避難が必要な区域	家屋倒壊等氾濫想定区域
土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊 土石流	氾濫流による区域	
急傾斜地崩壊危険区域	危険区域	河岸侵食による区域	

## ハザードマップからの避難判断

洪水浸水想定区域または土砂災害のおそれがある区域内にある

- いいえ → 屋内安全確保 (外出はしない、より安全な部屋へ移動)
- はい → 立ち退き避難(水平避難) (避難所や安全な親戚・知人宅に避難)

早期立ち退き避難が必要な区域または土砂災害警戒区域の中にある

- はい → 立ち退き避難(水平避難)
- いいえ → 屋内安全確保(垂直避難) (浸水の影響を受けない建物の上階に避難)

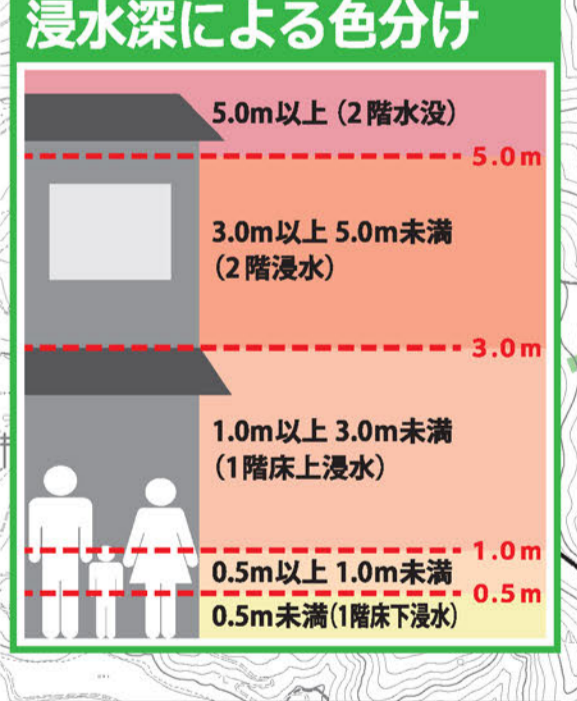
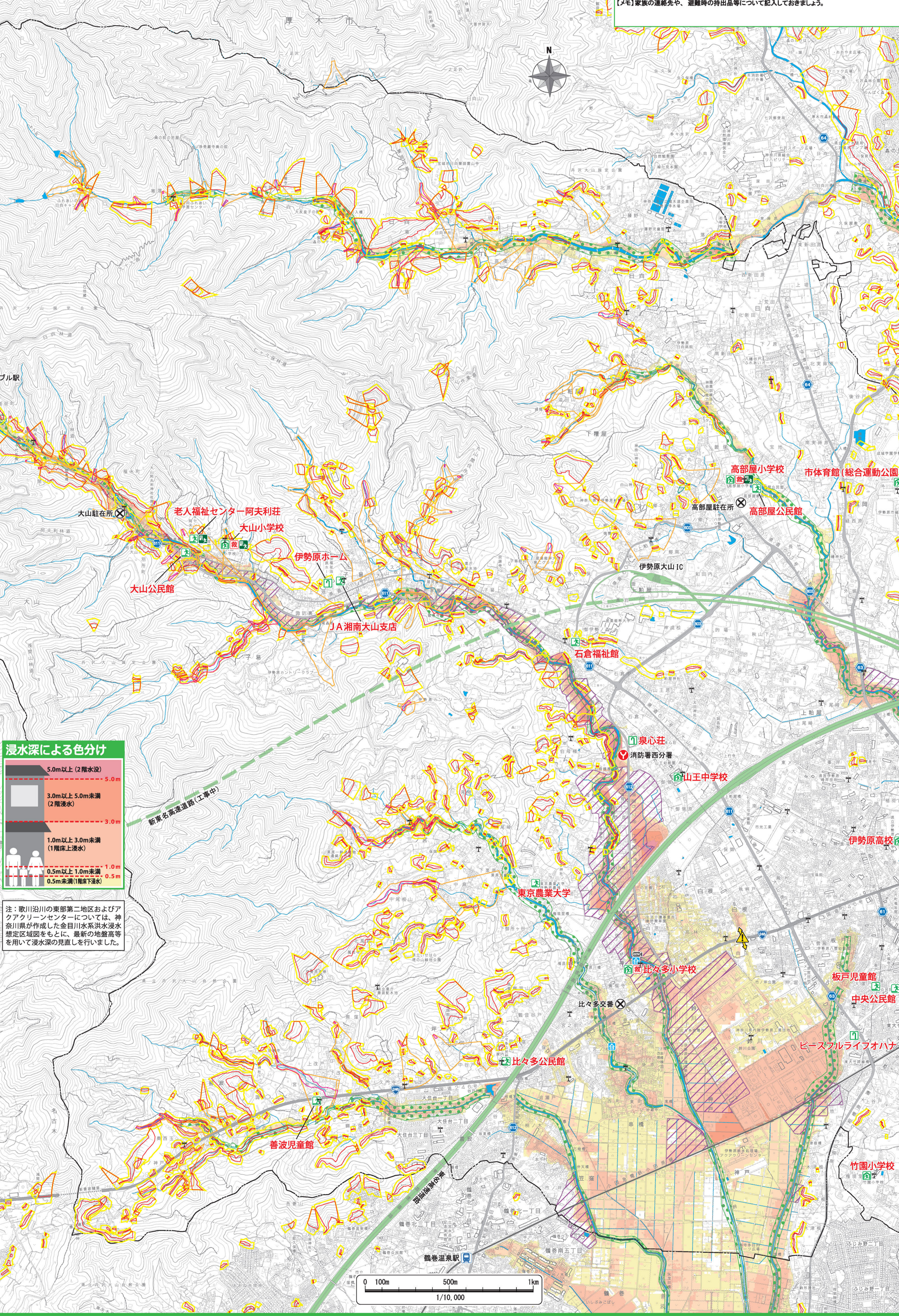
想定される浸水深が最上階の床高を上回るおそれがある(1階:0.5m以上、2階:3.0m以上、3階:5.0m以上の浸水深)  
浸水が3日以上継続する

※立ち退き避難(水平避難)に該当する方は、早期の避難行動を心がけてください。  
※すでに浸水が始まり、外出することが危険な場合には、建物の上階に移動するなど、より安全な場所に避難しましょう。

## 浸水継続時間

このマップは、想定される降雨によって河川が氾濫した場合に、浸水深50cm以上(屋外への避難が困難となり、孤立するおそれのある深さ)に達してから、その浸水深を下回るまでにかかる時間の最大値を表示しています。

浸水継続時間
12時間未満
12時間以上～1日未満
1日以上～3日未満



注：歌川沿川の東部第二地区およびアクリンセンターについては、神奈川県が作成した命目川水系洪水浸水想定区域図をもとに、最新の地盤高等を用いて浸水深の見直しを行いました。